

# 敬和創



上田市立第六中学校  
学校だより No.4  
令和7年7月25日(金)



🍷 夏に刻む成長の証～学年で取り組み、つかった「知」と「体験」👓

1年：仲間や先生との絆が深まった自然体験学習

2年：働く大変さを実感！職場体験学習

3年：未来の自分をつくる！防災・減災学習&進路講話



## 13年目の六美展：「猪・鹿・蝶」の連作



完全燃焼！→運動部中体連県大会へ  
水泳部（リレー、個人&剣道部（女子個人戦）出場

## ○一学期終業式 校長講話～「本気でやってみよう」



ある国にいくつかの村があり、それぞれの村人たちが村を歩き来しながら暮らしていました。ある村の入り口には門番がいて、他の村から来た旅人は必ずそこを通らなければならない決まりがありました。旅人が「ここはどんな村ですか？」と尋ねました。すると門番は、「そうですねえ、あなたが今までいた村はどんな村でしたか？」と聞き返します。旅人が「私の村は、ひどい村でした。」と答えました。すると門番は、「ここもたぶん同じような村だと思うよ。」と答えました。また別の旅人が、「ここはどんな所ですか？」と聞きます。門番は「そうですねえ、あなたが今までいた所は、どんな所でしたか？」と聞き返します。するとその旅人は、「私がいた所は、とても素敵な所でしたよ。」と答えました。門番は「ここもたぶん同じような所だと思うよ。」と答えました。

たったこれだけの話です。そしてこの話から、それぞれが何を考えるかということが問われることになります。どんな村にしようか、どんな所になるか。それは過去と未来をどうつなぐのかということであり、その節目が今（現在）となる。それは学校生活や仕事や人生も同じこと。自分が何を目的とし、自分はどうかしたいか。それなら周りや他人のせいにならずに、自分が本気になって楽しくやろうではないですか！

「想像は、『自分が欲する未来』を生み出す力を持っている」という言葉があります。自分がはっきりとした未来を想像すればするほどやる気が引き起こされるということが、心理学の研究で証明されているそうです。例えば「英会話が上達して、海外の人と直接話しができた」という未来を想像することで、目標に向かうモチベーションがより強いものになるそうです。一方、未来の自分がうまくイメージできないときは、設定した目標が間違っている可能性があるとも言われます。その時は目標や未来を再設定することが大切だそうです。

フランスに「アラン」というペンネームで知られている哲学者がいました。評論家としても活動し、1925年に発表された「幸福論」は今も多くの愛読者を持つとされています。彼の有名な言葉に「幸福な人は、幸福だから笑っているわけではない。笑っているから幸福になれるのだ。」とあります。自分が幸せになるために必要なことは、誰かによって与えられるものではありません。自分が笑顔になることで今ある幸せに気づくことが大切です。毎日の不満に押しつぶされて笑顔を忘れてしまうと誰も集まりません。人は、笑顔の人に集まります。幸せな気持ち、笑顔は、自分で作るものということです。

最後にもう一つ、アランの言葉を紹介します。「我々の社会は、求めようとしない者には何ひとつ与えない」

これから始まる夏休み、そして2,3学期には、新しいこと、知らないことへの好奇心をたくさんもってください。未知の世界を知ることで自分の将来への新しい扉が開くことがあります。次は何に挑戦しようかとワクワクしながら、そして笑顔を忘れずに、自分の目標に向けて日々の学習や学校生活を送ってほしいと思います。そして、進学や卒業するときに、他の人との比較ではなく、今の自分と比べての成長を実感してくれることを期待しています。

「想像は、『自分が欲する未来』を生み出す力をもっている」  
「幸福な人は、幸福だから笑っているわけではない。笑っているから幸福になれるのだ」  
「我々の社会は、求めようとしない者には何ひとつ与えない」



## ☆保護者の皆様へ

新緑がまぶしい季節から、日差しが強く本格的な夏を迎えるまで、あっという間の1学期でした。この75日間、子どもたちは元気に登校し、様々な学習活動や行事を通して、心身ともに大きく成長してくれました。保護者の皆様には毎朝の送り出しから学校行事への積極的なご参加と、多岐にわたるご支援をいただき、本当にありがとうございました。夏休み、子どもたちにはこれまでの頑張りをねぎらい、心と体をゆっくり休めてもらいたいと思います。また2学期、元気な姿で会えることを楽しみにしております。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。